PC-9800シリーズ
MS-DOS3.3C拡張機能セット
本製品の内容と取り扱いについて

はじめにお読みください

091193-223-001

本製品の内容と取り扱いについて

はじめに

本製品（MS-DOS 3.3 C 拡張セット）は，MS-DOS 3.3 C（PS 98-019－××，PS 98-H 1001-52）の機能拡張用セットです．

本製品には，MS-DOS を起動して運用するためのシステムファイルは含まれていません．

必ず基本機能セットと対でご使用ください．

Microsoft（マイクロソフト）のロゴは米国マイクロソフト社の商標です．

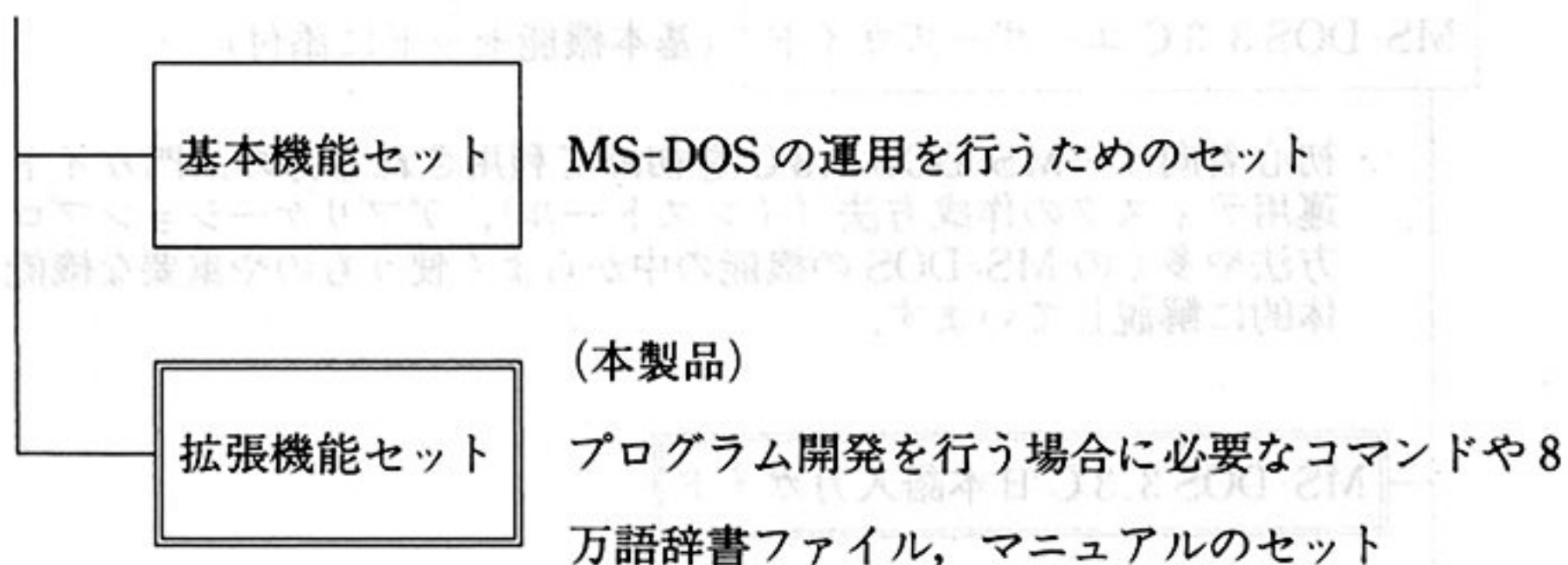
MS-DOS は米国マイクロソフト社の商標です．

目　　次

1． 製品の構成

1-1．MS-DOSの製品構成

MS-DOS 3.3 Cは，以下のような製品構成になっています．

MS-DOS 3.3 C

1-2． 拡張機能セットの製品構成

本製品には，次の物が含まれています．

① フロッピィディスク

・MS-DOS 3.3 Cシステムディスク

1メガバイトタイプフロッピィディスク

（3.5インチ2 HD，5インチ2 HD，8インチ2 D）のとき ・・・ 2枚

640キロバイトタイプフロッピィディスク

（3.5インチ2 DD，5インチ2 DD）のとき ・・・ 3枚

② マニュアル

・MS-DOS 3.3 Cユーザーズリファレンスマニュアル

・MS-DOS 3.3 Cプログラマーズリファレンスマニュアル（Vol.1/Vol.2）

・MS-DOS 3.3 Cプログラム開発ツールマニュアル

・日本語入力ガイド

③ その他

・ユーザー登録カード

2. マニュアルの内容

MS-DOS 3.3 Cに含まれるマニュアルは，次のような構成，内容になっています．目的に合わせて有効に活用してください．

MS-DOS 3.3 C ユーザーズガイド（基本機能セットに添付）

・初心者向け—MS-DOS 3.3 Cを初めて利用される方の入門ガイド
運用ディスクの作成方法（インストール），アプリケーションプログラムの登録方法や多くのMS-DOSの機能の中からよく使うものや重要な機能を選択して具体的に解説しています．

MS-DOS 3.3 C 日本語入力ガイド

・初心者～中上級者—日本語入力機能の利用ガイド
システムディスクで提供されている日本語入力機能について，日本語（ひらがなや漢字など）の入力方法と，そのために必要な設定などが解説されています．

MS-DOS 3.3 C ユーザーズリファレンスマニュアル

・中上級者向け
システムディスクで提供されているすべてのMS-DOSコマンドに関して，詳細な解説が行われています．ユーザーズガイドで扱われていない，MS-DOSの高度な機能についても解説されています．

MS-DOS 3.3 C プログラマーズリファレンスマニュアル Vol. 1/Vol. 2

・プログラム開発者向け
ファンクションリクエストを中心に，デバイスドライバやファイルフォーマットなど，MS-DOSでプログラムを開発する際に必要となる技術情報が解説されています．

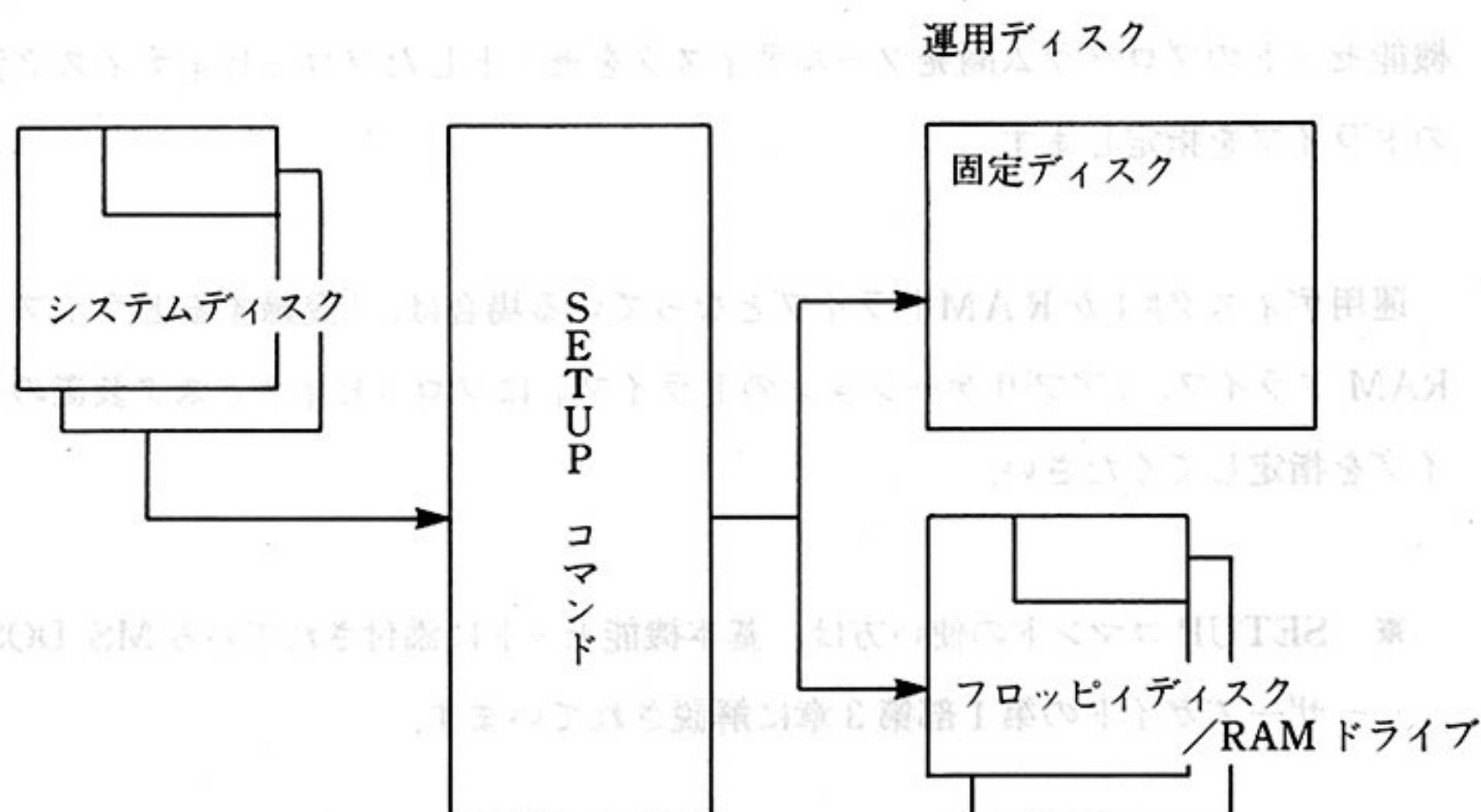
MS-DOS 3.3 C プログラム開発ツールマニュアル

・プログラム開発者向け
プログラム開発に用いるツールであるリンカ（LINK），シンボリックデバッガ（SYMDEB）などについて解説されています．

3. 運用ディスクへの組み込み

3-1. インストール作業

お買い上げになったMS-DOS拡張機能セットは，システムディスクからMS-DOSを起動することはできません．すでにお買い上げになった基本機能セットより作成した運用ディスクに組み込んでご使用ください．

MS-DOS 3.3 C拡張機能セットを運用ディスクに組み込むには，運用ディスクに含まれるSETUPコマンドを使用します．

（運用ディスクへの組み込み方法）

運用ディスクからシステムを起動し，MS-DOSコマンドメニューの「アプリケーションソフトの登録」を選択するか，MS-DOSコマンドプロンプトの表示されている状態で“SETUP⏎”と入力してください．

a．運用ディスクが固定ディスクの場合

SETUPコマンドの最初の画面（ドライブ指定）で，「登録するドライブ」の項目には，運用ディスク（固定ディスク）のドライブを，「アプリケーションのドライブ」の項目には，拡張機能セットのプログラム開発ツールディスクをセットしたフロッ

ピィディスク装置のドライブを指定します．

b．運用ディスクがフロッピィディスクの場合

フロッピィディスクで運用を行っているシステムでは，基本機能セットの運用ディスクに組み込む（コピーする）のではなく，拡張機能セットの運用ディスクを作成します．そのため，運用ディスク用にシステムディスクと同じ種類のフロッピィディスクをシステムディスクと同じ枚数準備しておいてください．

運用ディスクがフロッピィディスクの場合，SETUP コマンドのドライブ指定画面で，「登録するドライブ」の項目には，運用ディスク#1のセットされているフロッピィディスク装置のドライブを，「アプリケーションのドライブ」の項目には，拡張機能セットのプログラム開発ツールディスクをセットしたフロッピィディスク装置のドライブを指定します．

運用ディスク#1がRAMドライブとなっている場合は，「登録するドライブ」にRAM ドライブ，「アプリケーションのドライブ」にフロッピィディスク装置のドライブを指定してください．

※ SETUP コマンドの使い方は，基本機能セットに添付されている MS-DOS ユーザーズガイドの第1部第3章に解説されています．

ドライブの指定が終了したら，インストール作業が開始されます．画面に表示される指示にしたがって作業を行ってください．

（注意）

次の場合，SETUP コマンドを用いてフロッピィディスクへインストールすることはできません．

・フロッピィディスク装置が1台の場合
・98 NOTE で，640 キロバイトタイプ（2 DD）のフロッピィディスクの場合

この場合は，次のような方法でインストールしてください．

① FORMAT コマンドを使って，システムディスクと同じ枚数のフロッピィディスクを初期化する．

② DISKCOPY コマンドを使って，①で初期化したフロッピィディスクにシステムディスクをコピーする．

—輸出する際の注意事項—

日本電気株式会社

本製品（ソフトウェア）は、外国為替および外国貿易管理法の規定により、戦略物資等輸出規制品に該当します。従って、日本国外に持出す際には日本国政府の輸出許可申請等必要な手続をお取り下さい。

808-860990-001-0